

ONCC 12期生 てくてくウォーキング科
2025年2月7日(金)

「乙訓探訪」〈向日市物集女城跡周辺と文化資料館を巡る〉

今回は古代から歴史の舞台となった乙訓エリアの散策を楽しみました。乙訓エリアとは向日市、長岡京市、大山崎町からなる京都と大阪を結ぶ交通の要衝。古くは謎の都と言われた長岡京や中世の城跡などいにしへの世に思いをはせるわくわくするウォーキングでした。



集合は阪急洛西口駅、少し寒い中ですが好天に恵まれ絶好のウォーキング日和でした。

まず出発前の準備運動です。
からだをあたため、また筋肉を伸ばして怪我等しないように。



班ごとにわかれてガイドさんの案内で出発

物集女地区の水田跡、用水あとなどは中世からのものということです。



来迎寺は西山浄土宗の寺院

平安時代の仏像が安置されているそうです。



物集女城跡に来ました。城跡とはいえわずかに掘のあとなどが残るだけの広場。

物集女(もずめ)という名前は中世までこの地域を支配した「物集女氏」から来ている。ただし物集女氏は織田信長に臣従しなかったため滅ぼされたとのこと。



向日市の午前中の散策を終え向日市文化資料館でパノラマ説明や展示を見学しました。

パノラマ説明では長岡京等の全体を示す展示がありました。

また長岡京が発掘されたときに遺跡から出た出土品なども多数展示されていました。

向日市役所5階のレストランで昼食後、班ごとの活動に入りました。我々3班は向日神社や長岡京遺跡などを廻りました。



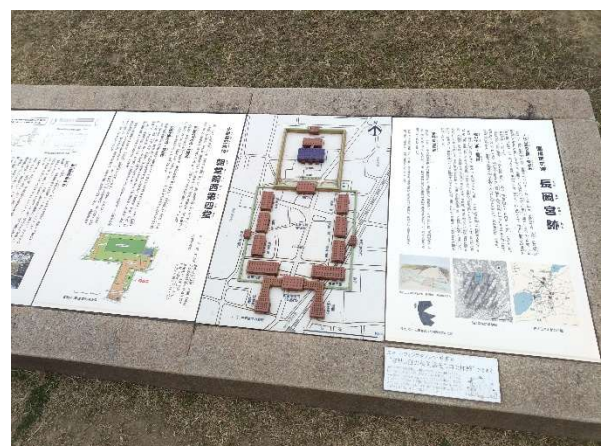
向日神社の鳥居をくぐり長い参道を行くと本殿があります。本殿は重要文化財。

続いて長岡京の遺跡を巡りました。長岡京は最近までその実態がまったく不明で「謎の都」といわれていましたが昭和30年代にわずかな古文書を手がかりにして発掘が始まり次々とその全容が明らかになったそうです。



大極殿(天皇が政務を執るところ)や朝堂院(いまの国会議事堂)などの柱の跡も発掘されました。

遺跡は国の特別史跡に指定され公園などとして管理されています。



午後から少し寒くなりましたが、今日一日歴史のロマンを感じながらの楽しいウォーキングでした。

(3班広報担当)